

6/28

「勢合雨水ポンプ場」が 浸水被害の縮小・解消を目的に完成!!



通水式で通水ボタンを押す関係者ら

勢合地区の浸水被害の縮小・解消を目的に、平成17年度から建設中であった勢合雨水ポンプ場（田野町字赤石南）がこの度完成し6月28日、関係者など約150人が参加して竣工式が行われました。

勢合雨水ポンプ場は、雨水管などの排水設備を集められた雨水のゴミを取り除き、田野川に放流する施設です。田野排水区6.2ヘクタールの雨水を1秒間に2.3トン排水できる能力を備えており、10年に1度程度と言われる降雨量である時間雨量72.5ミリに対しても耐えうる施設です。

当日は、稲田市長が「台風シーズンを前に、ポンプ場が完成したことは喜ばしい限りです」とあいさつ。完成にご尽力いただいた方々などに感謝状が贈呈されました。

また、関係者による通水式が行われたあと、芝田小学校金管バンド部の演奏が行われ、式典に花を添えました。

7/4

新開幼稚園園児が 七夕交通安全キャンペーン



交通安全を祈願して七夕飾りを手渡す園児

小松島市立新開幼稚園の4から5歳児の園児24人が、事故のない町づくりを目的に7月4日、大林町の国道で、七夕交通安全キャンペーンを行いました。

キャンペーンでは『あぶないよシートベルトで事故なしよ』などと園児らが丁寧に書いた短冊を飾った七夕の飾り竹50本や、空き箱で作られたタヌキの置物50体を「絶対に事故を起こさないように気をつけて」と声をかけながら、車を停車した運転手に手渡しました。

7/7

北京オリンピック出場 ライフル射撃の山下選手が本市を表敬訪問

昨年12月、クウェートで行われたアジア選手権大会のエア・ライフル立射60発で7位、ライフル伏射60発で4位、ライフル3姿勢120発で7位に入賞し、北京オリンピックに出場する小松島市大林町出身の山下敏和選手が7月7日、市役所を訪れ出発前のあいさつをしました。

稲田市長が「小松島に明るい話題が届き、喜ばしい限りです。五輪では持てる力を存分に発揮し、頑張ってきてください」と激励する

と、山下選手は「競技を始めたのは小松島高校。競技人生原点の小松島に、明るい話題を持ち帰るためにも、五輪では全力を尽くします」と決意を述べられました。

また、この日は出身校である小松島高等学校で壮行会が行われ、母校でも健闘を誓われました。

山下選手は、10メートルエア・ライフル男子、50メートルライフル男子伏射、50メートルライフル男子3姿勢の3種目に出場予定で、8月5日、北京へ向け出発します。



稲田市長(右)と握手をして健闘を誓う山下選手(左)

7/5

泰地識字学級生が交流会で 藍染めや草木染めを体験

識字学級生が体験学習をしながら地元の子どもたちとの交流と、お互いをより理解することを目的に7月5日、小松島西高等学校内にある藍の館で藍染めと草木（タマネギ）染めの体験学習会が行われました。

当日は小雨の降るなか、泰地識字学級生や人権のまちづくりひまわり子ども会（千代小学校）の親子、小松島西高等学校の教諭や生徒など約50人が集まり終始なごやかな雰囲気での体験交流会が行われました。



タマネギ染めの準備をするひまわり子ども会の親子ら